

ひまねき

警固屋学園通信
第70号
28.3.7
発行

警固屋学園では、前期・中期の節目として四年生で「二分の一人式」を、七年生で「立志式」を毎年行っています。今年は二月六日の土曜参観日に行いました。

四年生 二分の一人式

二分の一人式は、小中学校九年間のうち、前期（一・二・三・四年）の終了となるけじめの式です。四年生は、多数の保護者に見守られながら「十歳のスピーチ」を言い切る事ができました。また、校長先生から「二分の一人証書」を受け取りました。これまでの自分の成長に自信を持ち、さらに力を伸ばしてほしいと思います。

四年生の感想

ほくほきんちゅうして心ぞうがなっていました。今にも飛び出しそうでした。でも何とか言えました。泣きそうになりました。

わたしは、スピーチの時、とってもきんちゅうしたけど、何とか言えました。「お母さん、お父さん、今まで育ててくれてありがとうございます。」と思いました。感謝の気持ちでいっぱいです。

七年生 立志式で決意を述べる

立志式は小中学校九年間のうち、中期（五・六・七年）の終了となるけじめの式です。警固屋学園の学校目標「自分を創る」成長段階のうち「自立」や「貢献」へ向かう時期となります。

この機会にこれまでの自分を見つめ直し、新たな目標を定め、それに向かってどのように行動していくかについて述べました。当日は、保護者の前でしっかりとその決意を述べる事ができました。後期（八・九年）でさらに自分を成長させていってほしいです。



これまでの自分を振り返る映像を背景に決意を述べました。

原稿なしで、発表する人も。

祝・入学！ 新入生説明会

二月九日（火）に警固屋小学校では、四月から新一年生になる児童と保護者に対して「新入生説明会」を行いました。

保護者が説明を受けている間、五年生が新一年生のお世話をしました。風船バレーやボーリング、さかなつりなどをして、新一年生を楽しませていました。五年生は来年度の警固屋小学校のリーダーとして立派にもてなすことができました。

五年生の感想

最初はとてもしどきしたけど、遊んでいるうちにそんなことはわすれていました。とても楽しくトラブルもなくなりました。

わたしは、風船バレーが一番楽しかったです。新一年生は小さくてとてもかわいかったです。



中学校生活について

二月十七日（水）に、中学校の生徒会執行部の二名が、六年生に中学校生活について説明をおこないました。事前アンケートから、六年生が不安に感じている学習と部活についてアドバイスをしてもらいました。中学生二人の態度は大変すばらしく、六年生にとって大いに手本となりました。また、説明の内容も工夫されていて、六年生によく分かるように説明することができました。

中学生の先輩の説明を聞いて、六年生の表情から、勉強が大変そうだと感じながらも、頑張ろうというやる気が見えました。また、部活が楽しめという気持ちが見えました。中学校進学を控えている六年生にとって貴重な時間となりました。中学校で頑張ることを期待しています。

六年生の感想

四時間目に、生徒会執行部の中学生が、中学校について話してくださいました。いろいろ分かりました。宿題の量が分かりました。毎日ががんばりたいです。

中学二年生の二人が、これから私たちが入る警固屋中学校について教えに来てくださいました。私は「中学生の先輩と仲よくできるかも!」と安心しました。中学校が楽しみです。



中学校生活について、映像を使いながら、説明しているところです。

学園朝会 三月

三月一日（火）に、今年度最後の学園朝会がありました。この学園朝会は、小中一貫校である警固屋学園だからこそできる活動です。一年間を通して、小中で同じ生活目標を決めて取組を進めてきました。三月の生活目標は「オアシスの 特上あいさつ 自分から」です。今年度を締めくくるのにふさわしい目標です。特上とは、挨拶の後、相手の顔を見ます。自分から進んで気持ちのよい挨拶をしつかりしてほしいと思います。



ホッと・ハート・メモ

三月三日（木）にALTのキット先生の友達のエルフィーさんが五年生教室にいられました。エルフィーさんはシンガポールの音楽の先生だそうです。五年生の音楽と外国語活動を参観し、音楽では五年生と琴の演奏をしました。そのあと五年生と給食を食べました。給食にひなあられが出ていて「ジャパニース ガールズ フェスティバル!」と楽しそうに日本の給食を味わっていました。日本の文化を少し伝えられたと思います。楽しい国際交流になりました。



《編集後記》

三月に入りました。ようやく暖かな春の訪れが感じられるようになってきました。三月は別れの季節です。寂しくなりますが、卒業する九年生の今後の活躍を期待します。

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。